

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	化学療法中の患者に対して行った栄養指導の満足度調査と患者の背景因子の分析
研究責任者	聖隷浜松病院 栄養課 久保田智子
研究実施体制	聖隷浜松病院 消化器内科:芳澤社 栄養課:森恵里、水野佐代子、寺田枝美、井澤朋晶、源馬巴菜子、清水幹生、山岸茉奈実、山岡加菜子、鈴村里佳 看護部: 杉村恭子、梅田靖子、伊藤奈央
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2029年3月31日
対象者	2019年4月～2026年3月31日までに聖隷浜松病院外来化学療法室で栄養指導を行った患者さん
研究の意義・目的	がん薬物療法を行う患者さんは有害事象による食欲不振、嘔気、嘔吐、味覚異常等により食事摂取が困難となり栄養状態の悪化や体重減少をきたしやすく、また、がんの進行により悪液質の状態になると栄養状態は急速に悪化していきます。 2019年度よりがん薬物療法を導入した消化器内科の患者さんに対して継続的に栄養指導を行い、2025年度には整形外科以外の診療科に対して管理栄養士が栄養指導を行っています。外来化学療法室で栄養指導を行った患者さんを対象に患者満足度調査を実施し、患者の背景因子について分析を行い、栄養指導の現状の評価と今後の対策に関して検討します。
研究の方法	対象患者について、アンケート調査を実施し、回答を集計、分析する。 調査項目 ① 患者背景:年齢(栄養指導実施時)、性別、身長、体重、BMI、診療科 ② 有害事象の内容:味覚異常、消化器症状(吐き気や嘔吐)、腹部症状(便秘、下痢)、精神的苦痛等 ③ 必要栄養量に対して実際の食事摂取量
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 栄養課 (氏名)久保田智子 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日